



阿部吉衛議員
(新 生 会)

立ち枯れ・倒木の撤去を

予算を見ながら処理

問 オランダ島の砂浜に漂流物が流れ着いており、8月17日にボランティアの協力を得て清掃を実施した。その際に目に付いたのが、倒木と枯れ木等である。養殖いかだや航行船舶に被害を与えるのではと、心の絆の会が8月24日に撤去作業を行った。今後の対策を示されたい。

佐藤町長 去る8月17日に清掃奉仕活動、その後に倒木、枯れ木の撤去作業を行っていただいた。ボランティアの皆さんには、心から感謝申し上げます。

問 三陸やまだ漁業協同組合のことしの水揚げ高が振るわないと聞く。特にことしはサケの回帰が少ない予想が出ている。今後厳しさを増すと考

現在、32年度までを計画期間とする東日本大震災復興再生計画を見直しており、経営の早期安定に向けて取り組んでいる。推移を注視していきたいので、現時点では支援策は考えていない。

現時点では考えていない

三陸やまだ漁協への支援策は

町民と職員が 一体となって復興を

今こそ職員の頑張りが必要

問 現在職員が少ない中、仕事量は大変多くなっていると聞く。職員の頑張りがなければ復興等は進まないと考えます。私は職員のやる気が出るように応援していきたいし、そのことが復興につながると思う。

議事会としても意見・提言のみでなく、まずは町民の負託に応えることが一番必要と考えるが町長はどうか。

佐藤町長 議員の考えと同様に今こそ職員の頑張りが必要と考えている。ぜひ議員の立場から、やる気が出るような指導をお願いしたい。そのことにより、町民の負託に応えたいと考えている。



立ち枯れ・倒木が目立つオランダ島

佐藤町長 三陸やまだ漁協は、単年度決算において震災後3期連続で黒字を計上しているが、多額の累積欠損金を抱え、依然厳しい経営状況となっている。